

経済産業大臣

平沼 赳夫 様

原子力依存のエネルギー政策の転換を求める申し入れ

地球救出アクション97

連絡先：地球救出アクション97事務局 稲岡美奈子

地球救出アクション97は、全国の反核・環境のグループとともに、今年の4月から7月にかけて3回にわたり申し入れ・交渉を行い、原発中心の国のエネルギー・温暖化政策の転換を求めてきました。この中で、原発の発電コストは実際より低く見積もられており、電力自由化が進む中、原発を温暖化政策の柱とする政策は、コスト競争面からも行き詰まってきたことが明らかになりました。

今回の東京電力による原発の自主点検データ改ざん事件により、ひび割れを隠したまま運転することで原発の稼働率を上げ、安全性を犠牲にして経済性を追求するという運転実態が明らかになりました。そうすることによってしか原発の経済性を維持することができないのです。このような危険な原発の運転は許すことはできません。国民の間では原発に対する信頼性が失われています。現地では原発の新増設凍結やプルサーマル計画の白紙撤回の動きが出ています。まさに原発依存のエネルギー政策の転換が求められているのです。

しかし、政府は、原発依存のエネルギー政策を変えないばかりか、「維持基準」や「インセンティブ規制」の導入により、検査体制を緩和しようとしています。これは、チェルノブイリのような原発重大事故が起こる危険性を一層高めます。事故が起こってからでは遅いのです。

貴職に対して以下の申し入れを行いますので、真摯に対応されますよう期待します。また、文書にて回答して下さいをお願いします。

1. 危険で経済性のない原発の建設・運転をやめて下さい。
2. プルサーマル計画を白紙撤回し、再処理工場の一切の試験運転を中止し、稼働をやめて下さい。
3. 「京都議定書」の我が国の目標達成をめざし、エネルギー効率を高めるとともに、エネルギー供給に占める化石燃料の割合を減らし、風力・太陽光など再生可能エネルギーの割合を大幅に引き上げて下さい。
4. 原発検査に、重大事故の危険性を一層高める「維持基準」、「インセンティブ規制」の導入をしないで下さい。